

# 仕様書

## 1. 件 名

令和 7 年度 活断層調査地の位置精度改善業務(福岡県)

## 2. 作業の目的

国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門(以下、「産総研」という。)では、地震防災への貢献と活断層に関する研究の高度化のため、これまでに実施された活断層調査の成果と全国の活断層の評価の結果を集約した「活断層データベース」を公開している。本作業は、このデータベースの活断層図を従来よりも拡大して表示することを可能にするため、活断層の調査地の位置精度向上を行うことを目的とする。

## 3. 作業項目別仕様

- (1) 活断層調査地情報の位置精度向上
- (2) 作業報告書の作成

## 4. 作業の詳細

### 4-1 調査地情報の位置精度向上

#### (1) 作業対象

「活断層データベース」に登録されている活動セグメントのうち、下記の 10 セグメント(括弧内は各活動セグメントにおける調査地の数)の調査地 510 地点について(2)～(4)の位置精度向上の作業を実施すること。

- 212-01 小倉東活動セグメント(82 地点)
- 213-01 福智山活動セグメント(24 地点)
- 214-01 西山活動セグメント(84 地点)
- 214-02 嘉麻峠活動セグメント(11 地点)
- 214-03 大島沖活動セグメント(55 地点)
- 215-01 警固活動セグメント(74 地点)
- 219-01 水縄活動セグメント(107 地点)
- 320-01 板谷峠活動セグメント(5 地点)
- 341-01 宇美活動セグメント(54 地点)
- 342-01 日向峠-小笠木活動セグメント(14 地点)

## (2)位置情報の確認・修正

データに登録されている調査地の位置情報を国土地理院がウェブ公開している「地理院地図」のズームレベル 15～16 程度を背景にして確認するとともに、それぞれの原著を再確認し、必要に応じて調査地の位置を修正し、修正後の座標を記録する。

なお、原著に基づく位置の確認・座標の読取の記録については、トレーサビリティを確保できるように整理・記録すること。

## (3)作業結果による調査地の分類

上記(2)で実施した作業の結果に基づき、各調査地を以下のとおり分類する。

- A: 文献による詳細位置を確認できず
- B: 文献による詳細位置を確認し、変更の必要なしと判断
- C: 文献による詳細位置を確認し、調査地位置を修正
- D: 文献による詳細位置を確認し、調査地の変更は必要ないが、活断層線の位置の修正は必要あり
- E: 文献による詳細位置を確認し、調査地と活断層線の両方について位置修正の必要あり
- F: 文献による詳細位置を確認し、調査地の細分等、大がかりな見直しが必要

なお、出典とされている文献が異なるが、同一の調査地であることが確認できたものについては、備考としてその旨を記録しておくこと。また、上記分類の記録は、判断根拠が解かるように整理・記録すること。

## (4)断層線トレースの修正案の提示

(3)において、分類の D もしくは E に分類された場合には、文献の記載、陰影起伏図、空中写真等に基づき、断層線の位置を推定し、トレース線の修正案を図示すること。なお、具体的な図示の方法については、監督員と協議のうえ決定する。

## 4-2 作業報告書の作成

上記 4-1 の作業結果を作業報告書にとりまとめる。作業報告書の形式は A4 サイズの紙ファイルで綴じた冊子形式とし、紙ファイルの背に件名を表記すること。電子データ一式は DVD-ROM 等を作成し、報告書に添付する。

## 5. データの貸与

本件にかかる作業に必要となる下記のデータ等を産総研から請負者に貸与する。

- (1) 調査地情報の位置精度向上の対象となる調査地情報を収録した Excel ファイル 一式
- (2) 「活断層データベース」に収録されている活動セグメント線位置データ(shp 形式) 一式
- (3) 参考となる断層線資料(日本の活断層、活断層デジタルマップ、第四紀逆断層アトラス、

等)の断層線位置データ(kml 形式) 一式  
なお、各種データの貸与方法については、Box(ファイル転送サービス)もしくはメール添付で行うこととする。

## 6. 特記事項

### 6-1 技術要件

請負者は以下の条件を満たすこと。

- (1) 活断層の活動性および活動履歴の調査を行い、かつその結果を単独で解析して報告書を執筆した実績を有すること。(文献の読解のために必要)
- (2) 上記(1)に携わった経験を持つ技術者が、本件の作業に十分な人数を配置することが可能であること。

### 6-2 打合せ協議

業務開始時、業務終了時、および必要に応じて業務実施期間中に、対面もしくはオンラインで打合せ協議を行う。

作業実施にあたっては、監督員と連絡を密にし、問題が生じた場合は作業を中断しすみやかに相談することとし、必要に応じてメールや打合せで協議を行う。

## 7. 納入の完了

作業完了の後、「8. 納入物品」に記載された納入物品が過不足なく納入され、仕様書を満たしていることを確認し、納入の完了とする。

## 8. 納入物品

- (1) 作業報告書 紙媒体および電子ファイル(PDF 形式:表紙を含む) 各3部
- (2) 電子データ 一式(DVD-ROM 等を作成し、紙媒体の報告書に添付)
  - ・本文(MS-Word 形式および PDF 形式)
  - ・4-1(2)で作業した位置座標データ(MS-Excel 形式)
  - ・4-1(3)で作業した調査地の分類結果を示した表(MS-Excel 形式)
  - ・4-1(3)で作業した調査地の分類結果を地図上に示した図面(PDF 形式)
  - ・4-1(4)で作業した断層線トレースの修正案を地図上に示した図面(PDF 形式)
  - ・その他、監督員が指示する電子データ

## 9. 納入期限及び納入場所

納入期限:令和8年2月27日(金)

納入場所:茨城県つくば市東1-1-1 つくばセンター中央事業所7群

#### 10. 監督員

本件の作業の監督員は以下のとおりとする。

監督員:活断層・火山研究部門 活断層評価研究グループ 主任研究員 吾妻 崇

#### 11. 付帯事項

- ・本仕様書の技術的内容及び知り得た情報については、守秘義務を負うものとする。
- ・貸与データの目的外利用は禁止とする。データは厳重に管理し、本業務完了・納入後は、調達請求者の指示に基づき、適切に廃棄、返却を行うこと。
- ・本仕様書の技術的内容に関しては、調達請求者の指示に従うこと。また、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、調達担当者と協議のうえ決定する。

以 上